

# OMRON

印刷物はありません

## Power Supply Monitoring Tool

### オペレーションマニュアル



SGTC-704B

#### おことわり

- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複写、複製、転載することを禁じます。
- 本マニュアルの内容に関しては、改良のため予告なしに仕様などを変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。
- 本マニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、弊社支店または営業所までご連絡ください。  
その際、巻末記載の**Man.No.**（マニュアル**No.**）も併せてお知らせください。

#### 商標

- **Microsoft**、**Windows**は、米国**Microsoft Corporation**の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中に掲載している会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

#### 著作権

スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。

# ご使用に際してのご承諾事項

(重要) このソフトウェアをインストールする前に以下の注意事項とソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みください。

このソフトウェアを使用可能な状態にされる時点で（ダウンロード、インストールその他の行為を含みますがこれらに限定されません。）、お客様は以下のソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」といいます。）に同意されたものとみなします。もしお客様が同意されない場合、ソフトウェアをご使用いただくことができませんので、ウェブサイトからのダウンロードを中止してください。

## ● ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、オムロン株式会社（以下オムロンといいます）がお客様（以下使用者といいます）にソフトウェアを使用許諾する条件を定めたものです。

- (1) 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本契約の下部にある「規約に同意し、ダウンロードページを開く」ボタンを押下して表示されるダウンロードページに掲載されたコンピュータ・プログラムおよびその関連する技術資料等のすべてを含みます。ソフトウェアの著作権はオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に帰属し、本契約により使用者に移転することはありません。
- (2) オムロンは、使用者が自己の保有するコンピュータの範囲内でソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。ただし、使用者は1ライセンスあたり複数のコンピュータで、同時にソフトウェアを使用することはできません。
- (3) 使用者は、ソフトウェアをオムロンの事前の書面による同意なしに第三者に再使用許諾、譲渡または貸与することはできません。
- (4) 使用者は、ソフトウェアのバックアップ目的のためにのみソフトウェアを複製することができます。使用者はソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングおよびそれに類する行為を行うことはできません。
- (5) 使用者は、ソフトウェアの内容について本契約期間中およびその終了後も秘密として保持し、第三者に開示しないものとします。
- (6) オムロンはソフトウェアについて、明示的にも黙示的にも一切の保証をいたしません。いかなる場合も、オムロンはソフトウェアの欠陥により発生した、使用者の直接損害、逸失利益その他の間接損害・付随的損害・特別損害・結果損害に対して一切の責任を負いません。
- (7) 使用者が本契約に違反した場合、オムロンは使用者に通知することによりソフトウェアの使用許諾を終了させることができます。その場合使用者はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに返却し、インストール済みのソフトウェアを使用者のコンピュータから消去しなければなりません。
- (8) 使用者は、本契約の全部または一部を、譲渡、再使用許諾等いかなる形でも移転することはできません。裁判所により本契約の一部が無効、執行不能、または違法と判断されても、ほかの条項には影響ありません。当事者の一方が本契約の条項を行使しなくても、その条項の行使権を放棄したものと解釈されません。
- (9) 本契約は日本法に準拠し解釈されます。本契約に起因または関係して本契約当事者間で発生する全ての紛争、論争、見解の相違は、日本国大阪で、日本商事仲裁協会の商事仲裁規則による仲裁によって最終的に解決されます。仲裁人の裁定は最終的なもので本契約当事者を拘束します。

# 安全上の注意

## 安全に使用していただくための表示と意味

このマニュアルでは、製品を安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。

ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。表示と記号は次のとおりです。



**注意**

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害をおったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

## 図記号の説明

| 記号                                                                                        | 意味                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 強制表示<br> | 強制表示の一般<br>特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示。 |

## Power Supply Monitoring Tool のセキュリティ対策

|                                                                                                                                       |                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 本ソフトウェアを使用するパソコンにウイルス対策ソフトを導入し、パソコンがウイルスに感染するリスクを低減させてください。また、ウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしてください。                                               |  |
| OS の脆弱性に起因するセキュリティリスクを回避するために、本ソフトウェアを使用するパソコンの OS を常に最新の状態にしてください。OS もしくは本ソフトウェアで設定するユーザー名やパスワードについて、他人から不正に利用されないよう適切な設定・管理をしてください。 |  |
| 機能の追加や操作性の改善、セキュリティの強化のため、本ソフトウェアは、常に最新のバージョンにアップデートしてお使いください。                                                                        |  |
| 制御・監視システムや装置のネットワークはファイアウォール（未使用通信ポートの遮断、通信ホストの制限）を導入し、IT ネットワークからの分離をおこない、本ソフトウェアの制御・監視システムへの接続はファイアウォール内で行うようにしてください。               |  |
| 本ソフトウェアから制御・監視システムや装置へのリモートアクセスが必要な場合は仮想プライベートネットワーク（VPN）を使用してください。                                                                   |  |

## 安全上の要点

---

- ・ 形 S8VK-X のデータシート（No.SGTC-067）および本体付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

## 使用上の注意

---

- ・ 対応 OS 以外の環境で、使用しないでください。誤動作する恐れがあります。
- ・ 本ソフト使用中は他のアプリケーションソフトを終了してください。ログデータのサンプリングに抜けが発生するなど、通信エラーの原因となります。

# マニュアル改訂履歴

マニュアル改訂記号は、裏表紙の左下に記載されている Man.No. の後尾に付記されています。

Man.No. **SGTC-704B**

↑ 改訂記号

| 改訂記号 | 改訂日        | 改訂ページ・内容  |
|------|------------|-----------|
| A    | 2018 年 4 月 | 初版        |
| B    | 2022 年 9 月 | 安全上の注意の追加 |

## 関連資料

---

- 形 S8VK-X については、形 S8VK-X のデータシート (No.SGTC-067) および本体付属の取扱説明書を参照してください。
- 形 S8VK-X の通信機能については、形 S8VK-X の通信マニュアル (No.SGTC-703) を参照してください。

# 目次

---

|                     |   |
|---------------------|---|
| ご使用に際してのご承諾事項 ..... | 1 |
| 安全上の注意 .....        | 2 |
| 安全上の要点 .....        | 3 |
| 使用上の注意 .....        | 3 |
| マニュアル改訂履歴 .....     | 4 |
| 関連資料 .....          | 5 |
| 目次 .....            | 6 |

## 第 1 章 概要

---

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 1-1 概要と特長 ..... | 1-2 |
| 1-2 仕様 .....    | 1-3 |

## 第 2 章 インストール

---

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 2-1 インストール .....   | 2-2 |
| 2-2 アンインストール ..... | 2-6 |

## 第 3 章 IP アドレスを設定する

---

|                |     |
|----------------|-----|
| 3-1 設定方法 ..... | 3-2 |
|----------------|-----|

## 第 4 章 基本的な使い方

---

|                     |      |
|---------------------|------|
| 4-1 説明の流れ .....     | 4-2  |
| 4-2 パソコンの設定 .....   | 4-3  |
| 4-3 プロジェクトの作成 ..... | 4-5  |
| 4-4 モニタリング .....    | 4-10 |
| 4-5 自動ログイン .....    | 4-13 |

## 第 5 章 その他の機能

---

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 5-1 警報判定をおこなう .....     | 5-2 |
| 5-2 電源の余裕度を確認する .....   | 5-4 |
| 5-3 電圧・電流をグラフ表示する ..... | 5-7 |
| 5-4 パスワードを設定する .....    | 5-8 |

## 第 6 章 こんなときには

---

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 6-1 トラブルシュート一覧 ..... | 6-2 |
|----------------------|-----|

# 概要

この章では、Power Supply Monitoring Tool の概要について説明します。

---

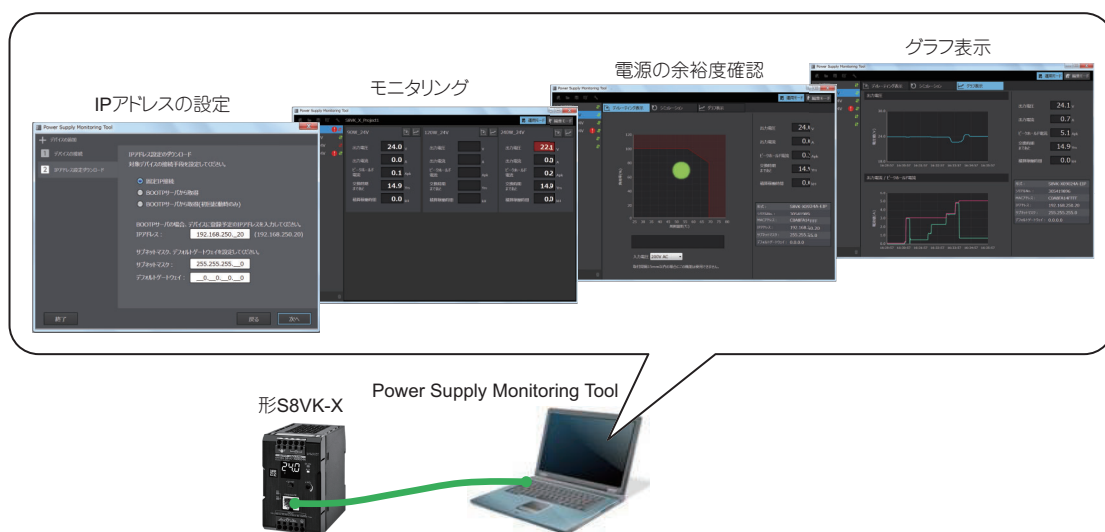
|                 |     |
|-----------------|-----|
| 1-1 概要と特長 ..... | 1-2 |
| 1-2 仕様 .....    | 1-3 |

## 1-1 概要と特長

Power Supply Monitoring Tool は、形 S8VK-X の IP アドレス設定や、モニタリングなどを行うためのツールです。

### ● 特長

- ・ 形 S8VK-X の IP アドレスを設定できます。
- ・ 形 S8VK-X の計測値を、モニタリングやロギングすることができます（最大 18 台）。
- ・ 各計測値に対し、警報判定がおこなえます。
- ・ 電源の余裕度確認、および容量変更のシミュレーションが行えます。



## 1-2 仕様

### ● 仕様

| 項目      | 内容                          |
|---------|-----------------------------|
| 最大接続台数  | 18 台（データ更新周期が 1 秒の場合は 6 台）  |
| データ更新周期 | 1 秒 / 10 秒 / 1 分 / 1 時間から選択 |

### ● 作成するファイル

| ファイル種類      | ファイル名                                 | 拡張子   | デフォルトでの保存位置                                     |
|-------------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------------------|
| プロジェクトファイル  | ユーザ指定                                 | .s8vk | C:¥ OMRON ¥ Power Supply Monitoring Tool ¥      |
| 自動ログデータファイル | プロジェクト名_タイムスタンプ<br>(yyyy_mm_dd_hh_mm) | .txt  | 上記フォルダ内に「プロジェクト名_Data」フォルダが自動的に作成され、その中に保存されます。 |

### ● 動作環境

| 項目         | 内容                                    |
|------------|---------------------------------------|
| OS         | Windows7/8.1/10 (32bit/64bit) (日 / 英) |
| CPU        | 1GHz 以上、32bit または 64bit プロセッサ         |
| メモリ        | 1GB 以上、または 2GB 以上 (64bit の場合)         |
| ディスク予約領域容量 | 16GB 以上、または 20GB 以上 (64bit の場合)       |
| モニタ解像度     | 1024×768 (XGA)、High Color 16bit 以上    |
| その他        | LAN ポート：ネットワーク接続用                     |



# 2

## インストール

この章では、Power Supply Monitoring Tool のインストールとアンインストールについて説明します。

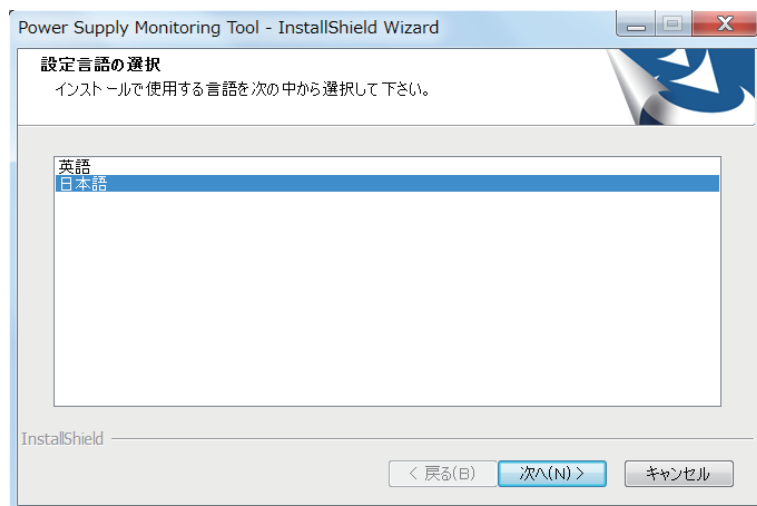
---

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 2-1 インストール .....   | 2-2 |
| 2-2 アンインストール ..... | 2-6 |

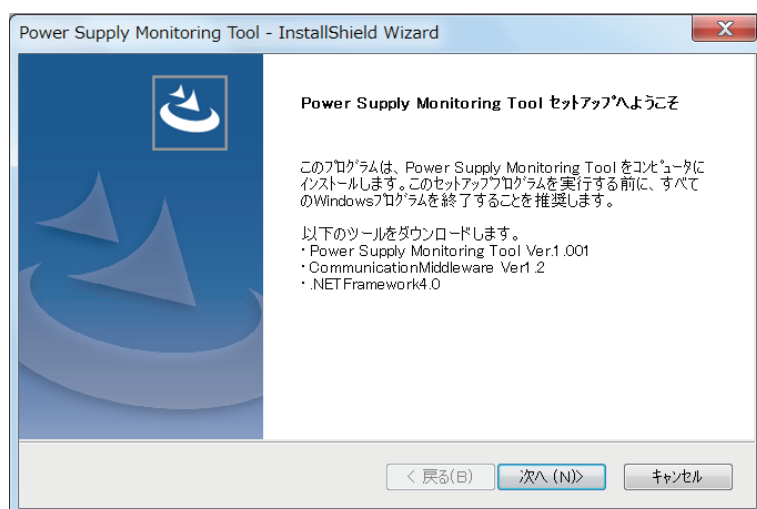
## 2-1 インストール

以下の手順でインストールします。

- 1 「setup.exe」 ファイルをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。「日本語」または「英語」を選択し、[次へ] をクリックします。

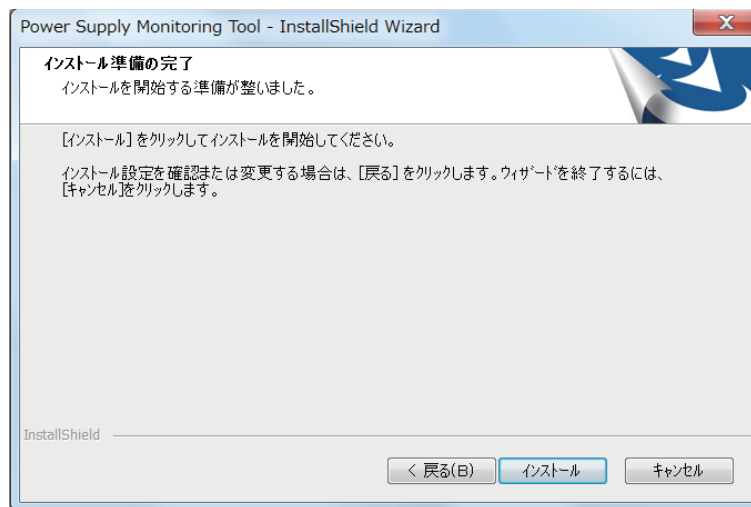


- 2 [次へ] をクリックします。



- 3 [使用許諾契約] ダイアログボックスが表示されます。「製品使用許諾契約」をよくお読みになり、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。

#### 4 [インストール] をクリックし、インストールを開始します。



#### 5 .Net Framework 4.0 をインストールします。

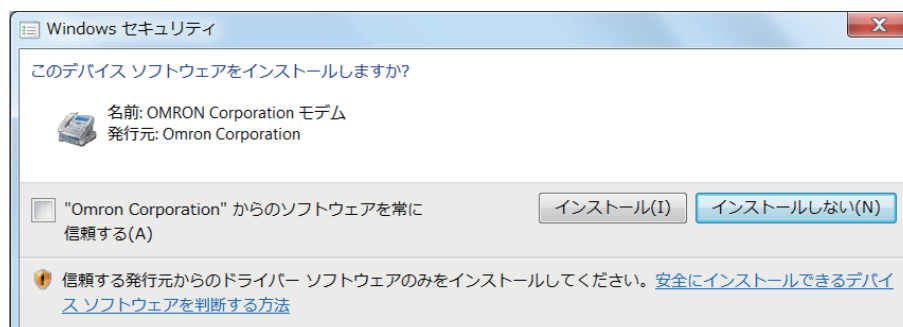
「.Net Framework 4.0」がインストールされていない場合のみ、インストーラを起動します。Windows 8.1/10 の場合はスキップします。

#### 6 Communications Middleware をインストールします。

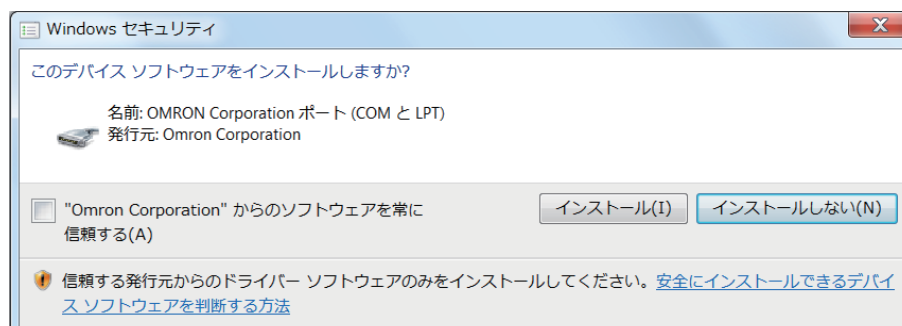
インストール時に表示する言語を選択してください。

旧バージョンがインストールされている場合は、必要に応じてアップデートしてください。最新バージョンがインストールされている場合は、手順 15 に進みます。

#### 7 インストールウィザード実行中に、以下のダイアログボックスが表示されるので、[インストール] をクリックします。

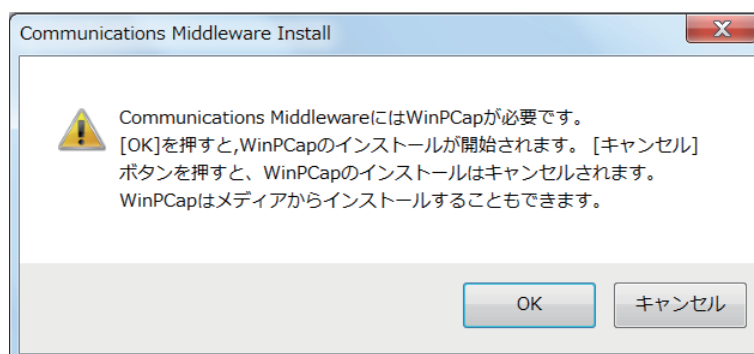
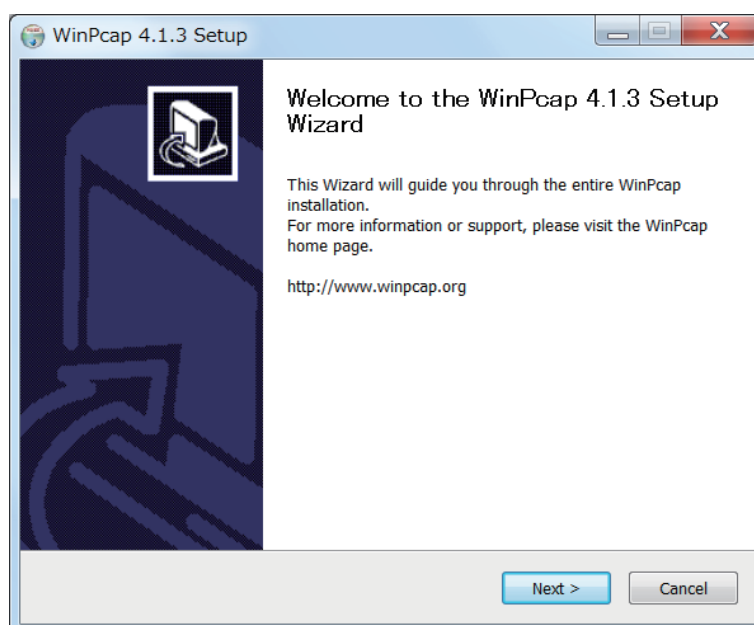


#### 8 続いて以下のダイアログボックスが表示されるので、[インストール] をクリックします。



**9 WinPCap をインストールします。**

以下のダイアログボックスが表示されるので、[OK] をクリックします。  
すでにインストールされている場合は、手順 15 に進みます。

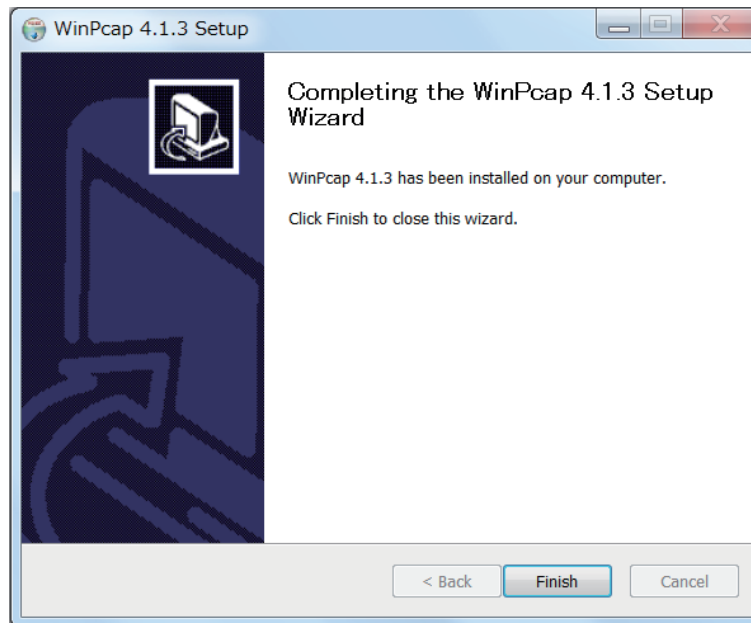
**10 [Next] をクリックします。****11 内容をご確認のうえで問題なければ、[I Agree] をクリックします。**

Installation options ダイアログボックスが表示されます。

**12 [Automatically start the WinPcap driver at boot time] にチェックを入れ、[install] をクリックします。**

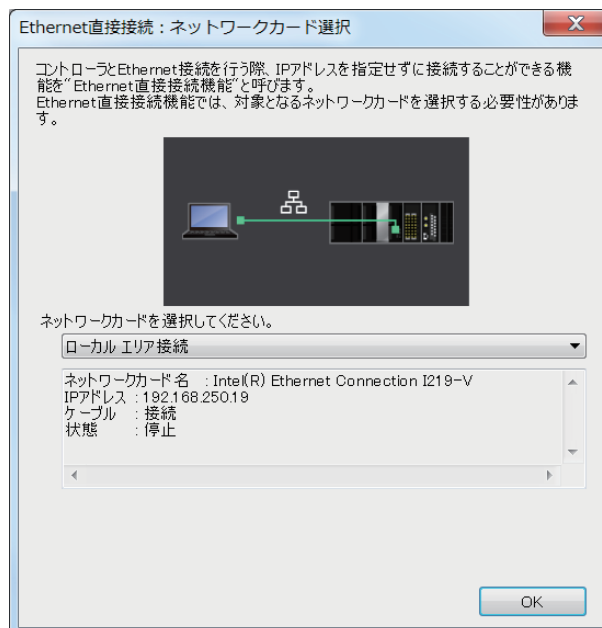
WinPcap のインストールが開始されます。

### 13 [Finish] をクリックし、WinPcap のインストールを完了します。



### 14 通信に使用するネットワークカードを選択します。

以下の画面で、使用するネットワークカードをプルダウンリストから選択し、[OK] をクリックします。



ネットワークカードの設定例

パソコンの有線 LAN ポートが 1 つしかない場合は、以下を選択してください。

- Windows 7 の場合、「ローカルエリア接続」を選択
- Windows 8.1/10 の場合、「イーサネット」を選択

### 15 コンピュータの再起動を選択し、[完了] をクリックします。

以上で Power Supply Monitoring Tool のインストールは完了です。

## 2-2 アンインストール

---

Windows のコントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を使って「Power Supply Monitoring Tool」をアンインストールしてください。

# 3

## IP アドレスを設定する

3

この章では、形 S8VK-X に IP アドレスを設定する方法を説明します。

|                |     |
|----------------|-----|
| 3-1 設定方法 ..... | 3-2 |
|----------------|-----|

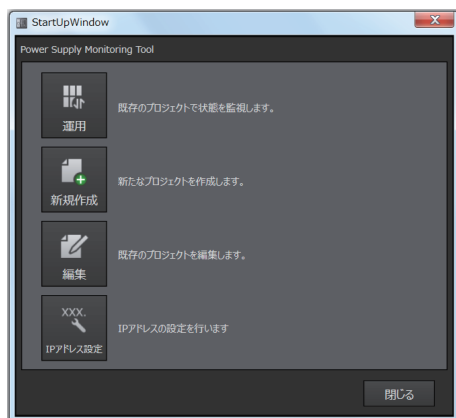
## 3-1 設定方法

以下の手順で、形 S8VK-X の IP アドレスを設定します。

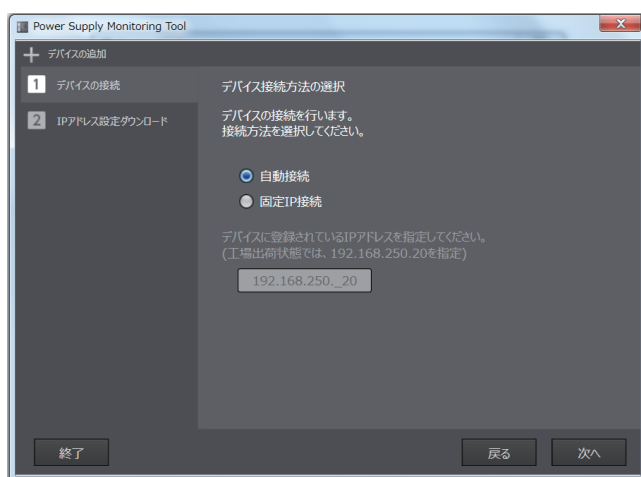
- 1 パソコンと形 S8VK-X を、Ethernet ケーブルで 1 対 1 接続します。  
ハブ経由で接続する場合も、必ず 1 対 1 で接続してください。



- 2 Power Supply Monitoring Tool を起動します。  
[すべてのプログラム] - [OMRON] - [Power Supply Monitoring Tool] を選択します。
- 3 以下の画面が表示されるので、[IP アドレス設定] をクリックします。



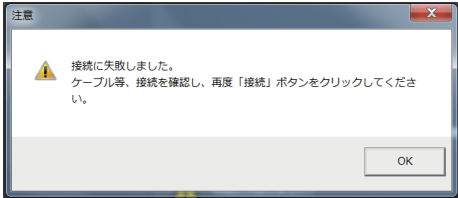
- 4 以下の画面で [自動接続] をチェックし、[次へ] をクリックします。



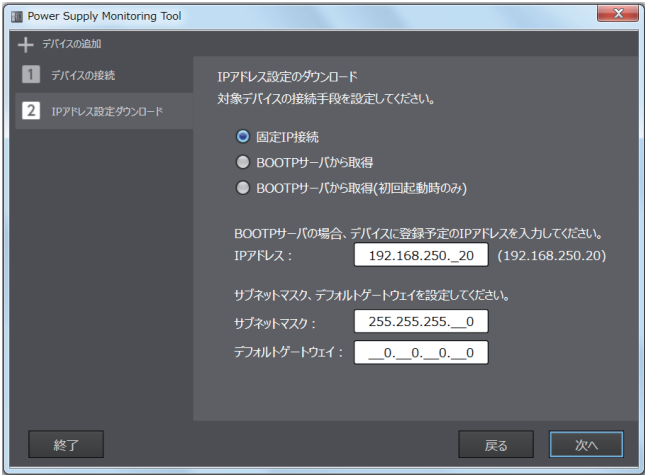
- 5** **「接続」をクリックし、接続の完了を待ちます。**  
接続が完了するまで、「接続中」と表示されます。



(注) 接続に失敗した場合、以下のメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。接続できない場合は、[□「6-1 トラブルシュート一覧 \(P.6-2\)」](#)を参照してください。



- 6** 接続に成功すると、以下の画面が表示されます。

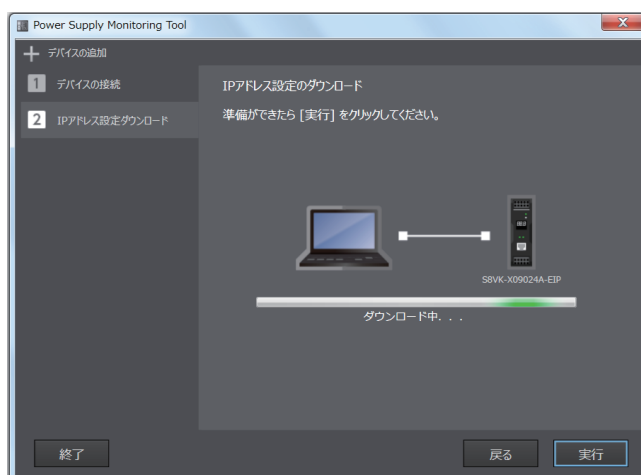


通常は「固定 IP 接続」をチェックし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力したあと、[ 次へ ]をクリックしてください。  
BOOTP サーバから IP アドレスを取得する場合は、使用シーンに応じて以下のどちらかにチェックを入れ、BOOTP サーバから取得する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

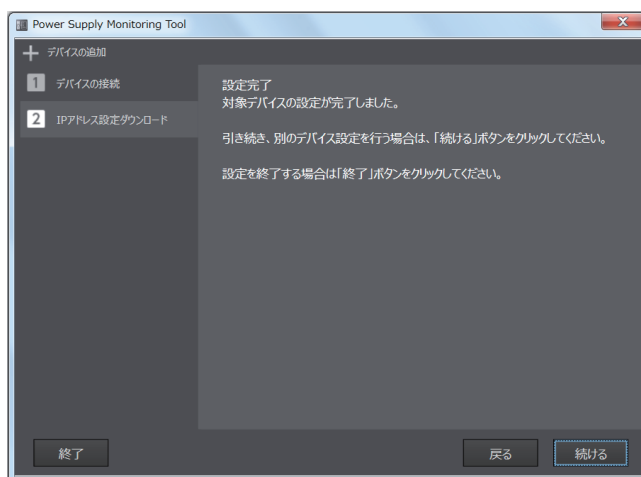
|                            |                                                                    |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| BOOTP サーバから取得              | 形 S8VK-X の起動ごとに、BOOTP サーバから IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを取得します。    |
| BOOTP サーバから取得<br>(初回起動時のみ) | 形 S8VK-X の初回起動時のみ、BOOTP サーバから上記データを取得します。<br>以降は取得せず、初回のデータで動作します。 |

(注) IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が、BOOTP から取得した値と異なっている場合、本ツールでモニタできなくなります。この場合、IP アドレスの設定をやり直してください。

## 7 [実行] をクリックすることでダウンロードを開始します。



## 8 ダウンロードが完了すると、以下の画面が表示されます。



これで1台分の設定が完了しました。

続けて他の形 S8VK-X を設定する場合には、Ethernet ケーブルを繋ぎ変え、「続ける」をクリックしてください。手順 4 から開始します。

# 4

## 基本的な使い方

この章では、本ツールの基本的な使い方を説明します。

4

|                     |      |
|---------------------|------|
| 4-1 説明の流れ .....     | 4-2  |
| 4-2 パソコンの設定 .....   | 4-3  |
| 4-3 プロジェクトの作成 ..... | 4-5  |
| 4-4 モニタリング .....    | 4-10 |
| 4-5 自動ロギング .....    | 4-13 |

## 4-1 説明の流れ

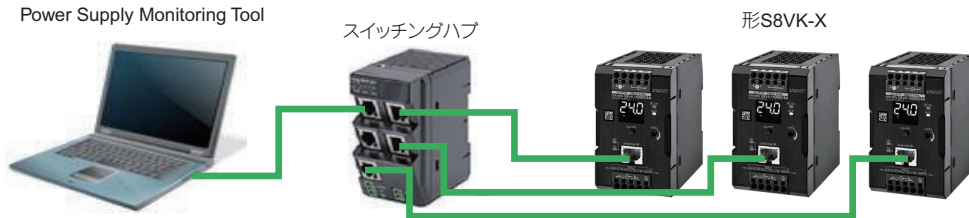
本ツールの基本的な使い方を、以下の順番に説明します。

また、以下の操作を行う前に、形 S8VK-X の IP アドレスを設定しておいてください。IP アドレスの設定方法は、3 章をご覧ください。

| 手順                      | 概要                                   |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 「4-2 パソコンの設定 (P.4-3)」   | モニタリングを行うために、パソコンの IP アドレスを設定します     |
| ↓                       |                                      |
| 「4-3 プロジェクトの作成 (P.4-5)」 | 新規プロジェクトを作成し、モニタリングする形 S8VK-X を登録します |
| ↓                       |                                      |
| 「4-4 モニタリング (P.4-10)」   | 作成したプロジェクトで、モニタリングを行います              |
| ↓                       |                                      |
| 「4-5 自動ロギング (P.4-13)」   | モニタリング中のデータを自動ロギングします                |

## 4-2 パソコンの設定

本ツールでモニタリングなどを行う場合、パソコンの IP アドレス設定が必要です。



以下の手順で、パソコンの IP アドレスを設定してください。

ただし、パソコンを他の用途でも使用する場合は、設定前に IP アドレスを記録し、使用后、元に戻してください。戻し忘れた場合、ネットワークに接続できない場合があります。

### OS ごとの設定方法

#### ● Windows 7 の場合

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [アダプターの設定の変更] を選択します。
- 2 ローカルエリア接続を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 3 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 4 「次の IP アドレスを使う」をチェックし、以降の設定例を参考に IP アドレスを設定します。

#### ● Windows 8.1 の場合

- 1 [スタート] を右クリックし、[ネットワーク接続] を選択します。
- 2 [イーサネット] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 3 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 4 「次の IP アドレスを使う」をチェックし、以降の設定例を参考に IP アドレスを設定します。

### ● Windows 10 の場合

- 1** [スタート] – [Windows システムツール] – [コントロールパネル] – [ネットワークと共有センター] – [アダプターの設定の変更] を選択します。
- 2** [イーサネット] を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3** [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 4** 「次の IP アドレスを使う」をチェックし、以降の設定例を参考に IP アドレスを設定します。

### IP アドレスの設定例

以下を参考に IP アドレス、サブネットマスクを設定してください。デフォルトゲートウェイの設定は不要です。

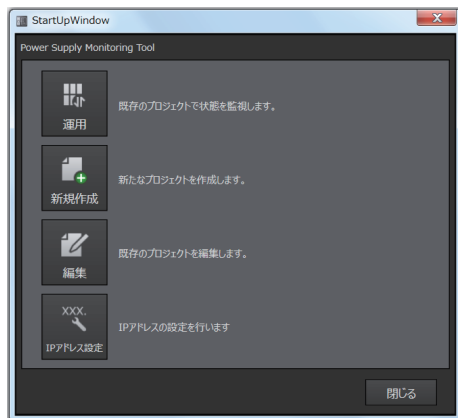
| 使用機器          | IP アドレス         | サブネットマスク      | デフォルトゲートウェイ |
|---------------|-----------------|---------------|-------------|
| パソコン          | 192.168.250.100 | 255.255.255.0 | 空欄          |
| 形 S8VK-X 1 台目 | 192.168.250.1   | 255.255.255.0 | 0.0.0.0     |
| 形 S8VK-X 2 台目 | 192.168.250.2   | 255.255.255.0 | 0.0.0.0     |
| 形 S8VK-X 3 台目 | 192.168.250.3   | 255.255.255.0 | 0.0.0.0     |

サブネットマスクは、形 S8VK-X と同じ値にしてください。サブネットマスクが『255.255.255.0』の場合、設定できる IP アドレスは 192.168.250.1 ～ 254 です。パソコンの IP アドレスはこの範囲内で、形 S8VK-X と重複しないように設定してください。

## 4-3 プロジェクトの作成

ここでは、新規プロジェクトを作成し、形 S8VK-X を登録するまでの手順を説明します。

- 1 本ツールを起動します。**  
[スタート] – [すべてのプログラム] – [OMRON] – [Power Supply Monitoring Tool]  
を選択します。
- 2 新たなプロジェクトを作成します。**  
以下が表示されるので、[新規作成] をクリックします。

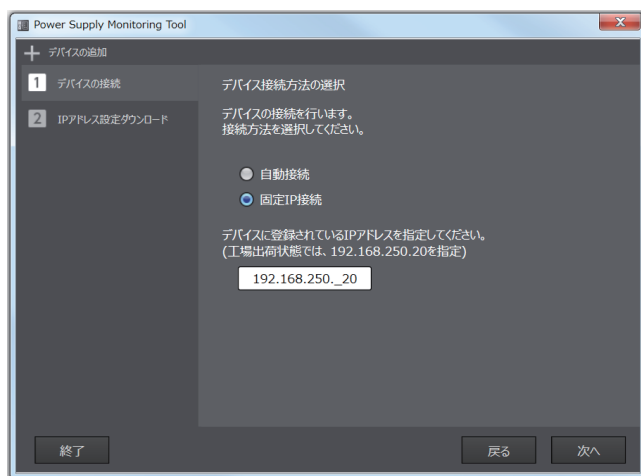


- 3 プロジェクトに形 S8VK-X を登録します。**  
以下が表示されるので、[通信設定] をクリックします。

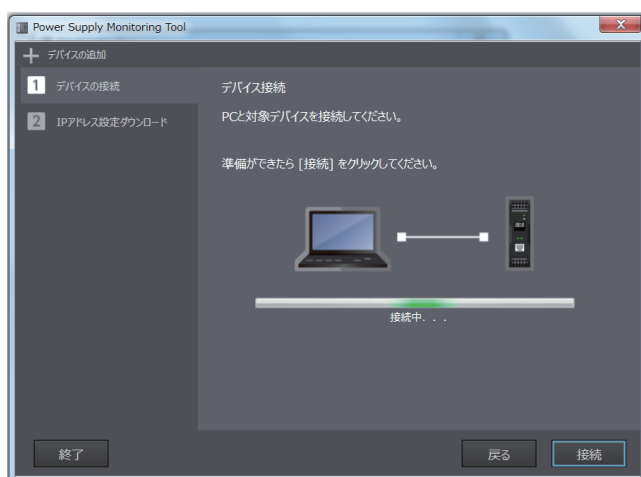


## 4 IP アドレスを入力し、形 S8VK-X と接続します。

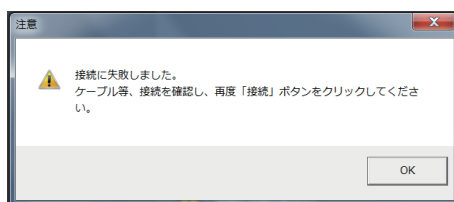
以下が表示されるので、[固定 IP 接続] にチェックを入れ、形 S8VK-X の IP アドレスを入力したあと、[次へ] をクリックします。



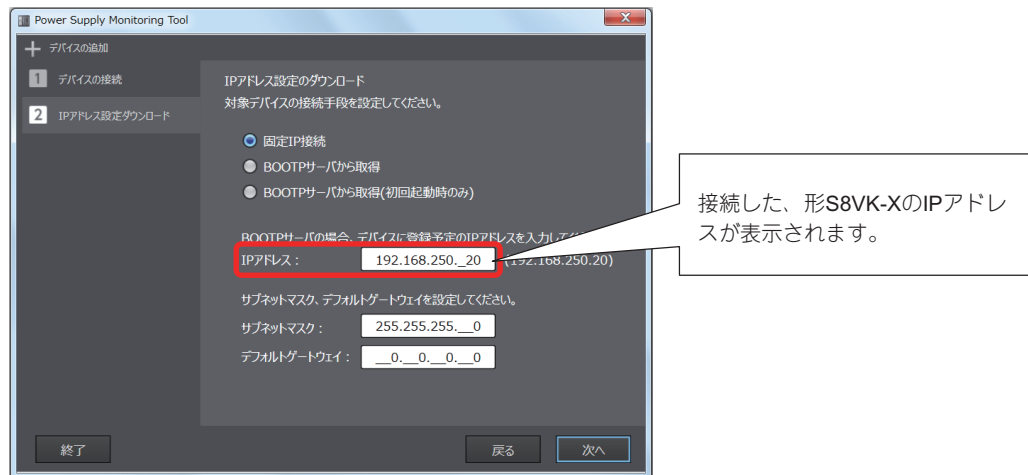
[接続] をクリックし、接続の完了を待ちます。  
接続が完了するまで、「接続中」と表示されます。



(注) 接続に失敗した場合、以下のメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。接続できない場合は、□「6-1 トラブルシュート一覧 (P.6-2)」を参照してください。



## 5 接続に成功すると以下が表示されるので、[次へ] をクリックします。



## 6 [実行] をクリックすることでダウンロードを開始します。



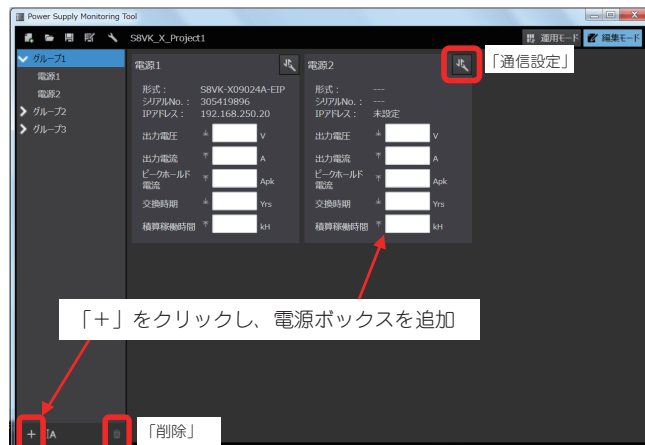
## 7 登録完了です。 編集画面に戻り、登録した形 S8VK-X の情報が表示されます。



## 8 続けて別の形 S8VK-X を登録します。

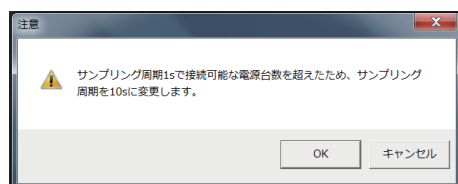
以下の「+」をクリックし、必要台数分の形 S8VK-X を追加します。そのあと「通信設定」をクリックし、手順 4 以降の操作をおこなってください。

誤って追加した場合は、削除したい電源名称を画面左端から選択し、「削除」をクリックすると削除できます。



1 画面に登録できる形 S8VK-X の台数は、最大 6 台です。7 台以上登録する場合は、画面の左端にある「グループ 2」または「グループ 3」を選択し、登録してください。最大 18 台まで登録できます。

7 台以上登録する場合、以下のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックしてください。サンプリング周期については、□「4-4 モニタリング (P.4-10)」の手順 3 を参照してください。



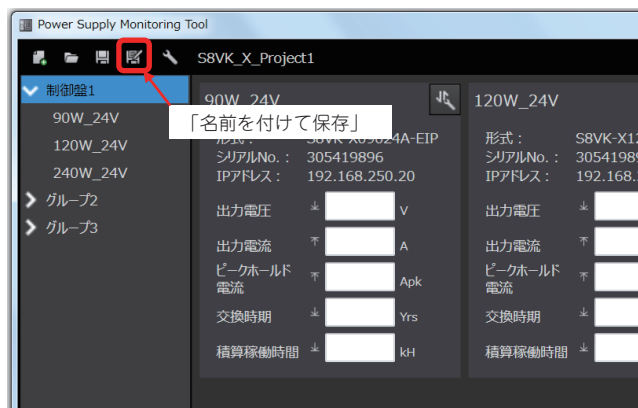
- 9** 登録した電源やグループの名称を変更します。  
 名称を変更することで、どの装置のどの電源かを区別しやすくなります。



- ・電源名（またはグループ名）をダブルクリックするか、電源名（またはグループ名）を選択したあと、「名称変更」をクリックします。
- ・名称は 20 文字までで、重複しないようにしてください。

## 10 プロジェクトを保存します。

最後に、作成したプロジェクトを保存します。「名前を付けて保存」をクリックし、表示される画面に従って保存してください。

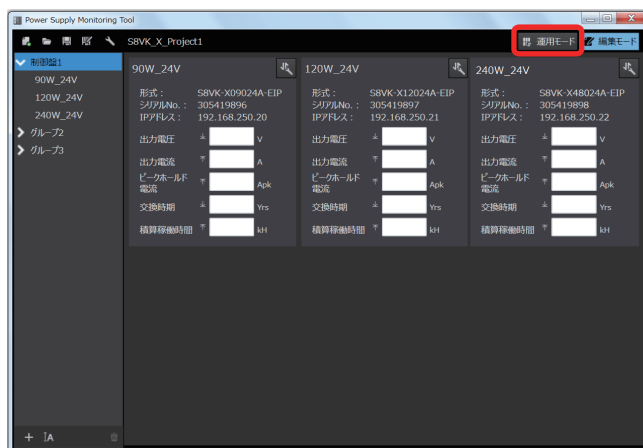


## 4-4 モニタリング

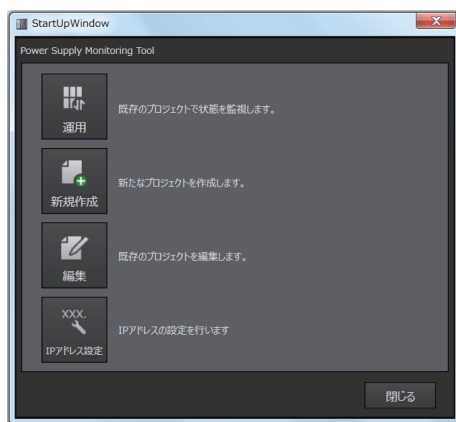
作成したプロジェクトでモニタリングする方法を説明します。

### 1 運用モードに移ります。

4-3 プロジェクトの作成後、「運用モード」をクリックします。



本ツールを一度終了し再度起動する場合は、起動画面で「運用」をクリックし、保存したプロジェクトファイルを選択してください。



2 モニタリングを開始します。

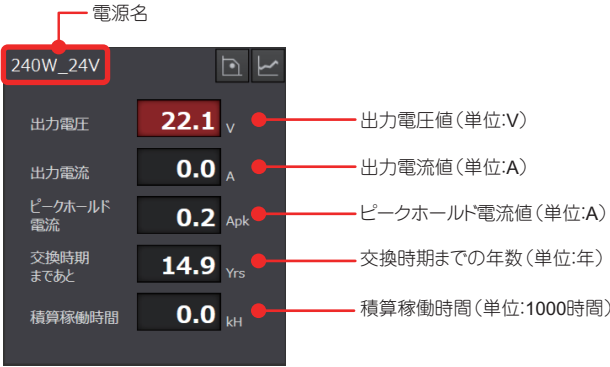
形 S8VK-X との通信を開始し、出力電圧などの各計測値を表示します。



各部の見方は以下の通りです。

● 電源ボックスエリア

以下の値をモニタリングできます。

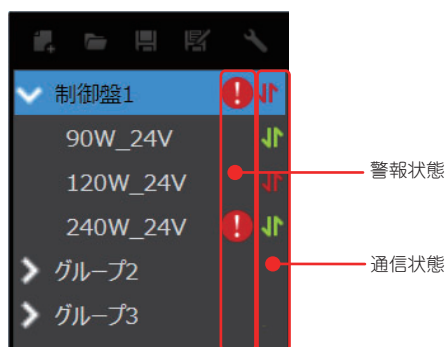


※ 通信異常が発生している場合、全てのモニタ値が空欄になります。  
また、電源異常が発生した場合、モニタ値に以下が表示されます。

| モニタ値      | 表示  | 異常名     | 説明                                                  |
|-----------|-----|---------|-----------------------------------------------------|
| 出力電圧      | ERR | 電圧計測値異常 | ノイズなどの影響で、正常に計測できません。                               |
| 出力電流      | ERR | 電流計測値異常 |                                                     |
| ピークホールド電流 | ERR | 電流計測値異常 |                                                     |
| 交換時期まであと  | HOT | 過熱警報    | 製品過熱状態が、180 分未満で継続しています。温度を下げてください。                 |
|           | ERR | 製品過熱異常  | 製品過熱状態が、180 分以上続いています。内部部品に劣化の恐れがあるため、本体を交換をしてください。 |

### ● 構成編集エリア

各電源、グループの通信状態と警報状態を表示します。



「電源名」をクリックすると、クリックした電源の「ディレーティング表示」画面（「5-2 電源の余裕度を確認する (P.5-4)」を参照）に移ります。一覧表示に戻したい場合は、「グループ名」をクリックしてください。

| 表示部  | アイコン | 説明                 |
|------|------|--------------------|
| 通信状態 |      | 正常に通信しています。        |
|      |      | 通信異常が発生しています。      |
| 警報状態 |      | 正常です。              |
|      |      | 警報または電源異常が発生しています。 |

いずれかの電源で通信異常や警報が発生した場合、その電源が登録されているグループ名の横にも、同じアイコンが表示されます。通信異常については、□「6-1 トラブルシュート一覧 (P.6-2)」を参照してください。また、警報については、□「5-1 警報判定をおこなう (P.5-2)」を参照してください。電源異常については、前ページを参照してください。

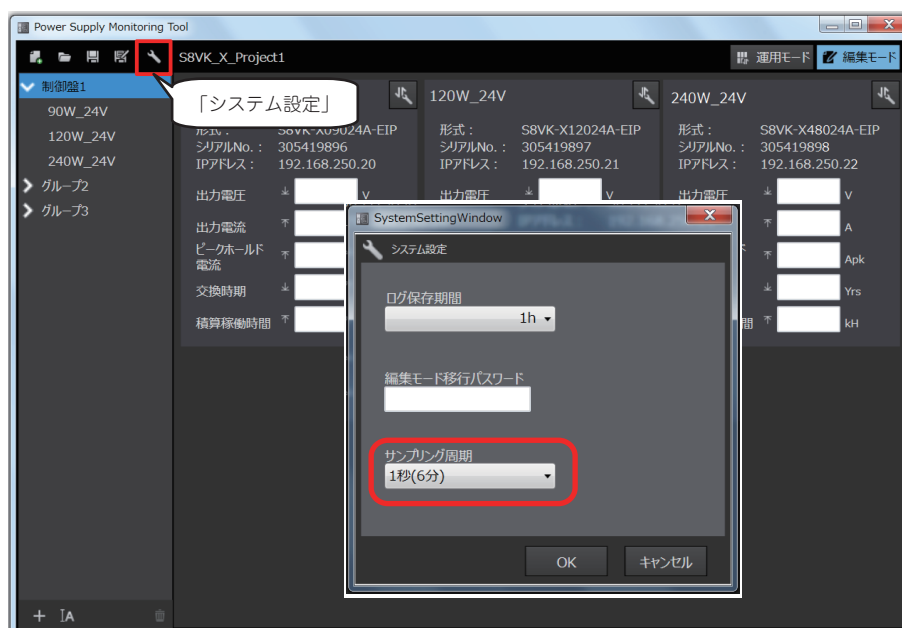
## 3 モニタリングの更新間隔を変更します。

初期状態では、1秒（7台以上の場合は10秒）間隔で全てのモニタ値を更新します。

更新間隔を変更したい場合は、「編集モード」をクリックし、「システム設定」をクリックしたあと、「サンプリング周期」を変更します。

「サンプリング周期」は1秒、10秒、1分、1時間から選択してください。登録台数が7台以上の場合、1秒は設定できません。

※ 動作条件（パソコン処理速度・モニタする電源数・通信異常など）によっては、設定したモニタリングの更新間隔でデータを収集できない場合があります。



## 4-5 自動ロギング

運用モード中、モニタリングしたデータをロギングします。  
ロギング仕様は、下表を参照してください。

| 項目            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ログデータ         | 形 S8VK-X の以下のデータ × 登録台数分<br>・ グループ名<br>・ 電源名<br>・ 形式<br>・ シリアル No<br>・ IP アドレス<br>・ タイムスタンプ<br>・ 本体ステータス *1<br>・ 出力電圧値 (単位: V)<br>・ 出力電流値 (単位: A)<br>・ ピークホールド電流値 (単位: A)<br>・ 交換時期までの年数 (単位: 年)<br>・ 交換時期までの割合 (単位: %)<br>・ 積算稼働時間 (単位: h)<br>・ 連続稼働時間 (単位: min)<br><br>タブ区切りのテキストファイルです。 |
| ログデータの保存間隔    | 1 ~ 24 時間<br>システム設定で変更します。システム設定への移行は、 <a href="#">図4-4 モニタリング (P.4-10)</a> の手順 3 を参照してください。                                                                                                                                                                                               |
| ログデータの保存タイミング | 保存間隔以外に、以下のタイミングでも保存<br>・ 編集モードに移った時<br>・ 本ツールの終了時                                                                                                                                                                                                                                         |
| ログデータの保存場所    | プロジェクトファイルと同じ場所の [プロジェクト名_Data] フォルダ内<br>デフォルトの保存場所は以下です。<br>C:¥OMRON¥Power Supply Monitoring Tool¥[プロジェクト名_+Data]<br>¥                                                                                                                                                                    |
| ログデータのファイル名   | プロジェクト名_ 保存時のタイムスタンプ (yyyy_mm_dd_hh_mm).txt                                                                                                                                                                                                                                                |

\*1. ステータスの詳細は、[図4-4 モニタリング \(P.4-10\)](#) を参照してください。



# 5

## その他の機能

この章では、警報判定や電源の余裕度の確認などの機能について説明します。

|     |                     |     |
|-----|---------------------|-----|
| 5-1 | 警報判定をおこなう .....     | 5-2 |
| 5-2 | 電源の余裕度を確認する .....   | 5-4 |
| 5-3 | 電圧・電流をグラフ表示する ..... | 5-7 |
| 5-4 | パスワードを設定する .....    | 5-8 |

## 5-1 警報判定をおこなう

モニタ値に対し、警報判定がおこなえます。

モニタ値ごとに「警報値」が設定でき、モニタ値が「警報値」を超える、または下回ると、画面上に通知します。



使用方法是以下の通りです。

### 1 編集モードに移り、各モニタ値に対し「警報値」を設定します。

警報判定したいモニタ値に対し、「警報値」を半角数字で設定します。警報には上限警報と下限警報があり、どちらの警報が使えるかは、各モニタ値の前にあるアイコンで区別できます。

| アイコン | 警報   | 通知条件       | 対象となるモニタ値             |
|------|------|------------|-----------------------|
| ↑    | 上限警報 | モニタ値 > 警報値 | 出力電流、ピークホールド電流、積算稼働時間 |
| ↓    | 下限警報 | モニタ値 < 警報値 | 出力電圧、交換時期             |

判定したくない場合は、空欄にしてください。ただし、出力電流値とピークホールド電流値は警報値を設定していない場合、自動的に定格電流値を警報値として判定します。



## 2 運用モードに移ります。

「警報値」を設定したモニタ値に対し、警報判定を行います。

警報が発生すると、モニタ値の背景が赤になり、画面左端の電源名と、その電源が属するグループ名に「警報」マークが表示されます。



## 5-2 電源の余裕度を確認する

使用環境下での負荷率や周囲温度に、どの程度の余裕があるかを確認できます。  
本機能は、必ず以下の条件で使用してください。この条件を満たせない場合、正しく動作しません。

- ・ 形 S8VK-X の取り付け間隔が 15mm 以上
- ・ 出力電圧が定格電圧の 100 ～ 101 % 以内
- ・ 標高 2000m 以下で使用

使用方法は以下の通りです。

### 1 ディレーティング画面に移ります。

運用モードで、「ディレーティング表示」または「電源名」をクリックします。再度、一覧表示にしたい場合は「グループ名」をクリックします。



### 2 入力電圧を設定します。

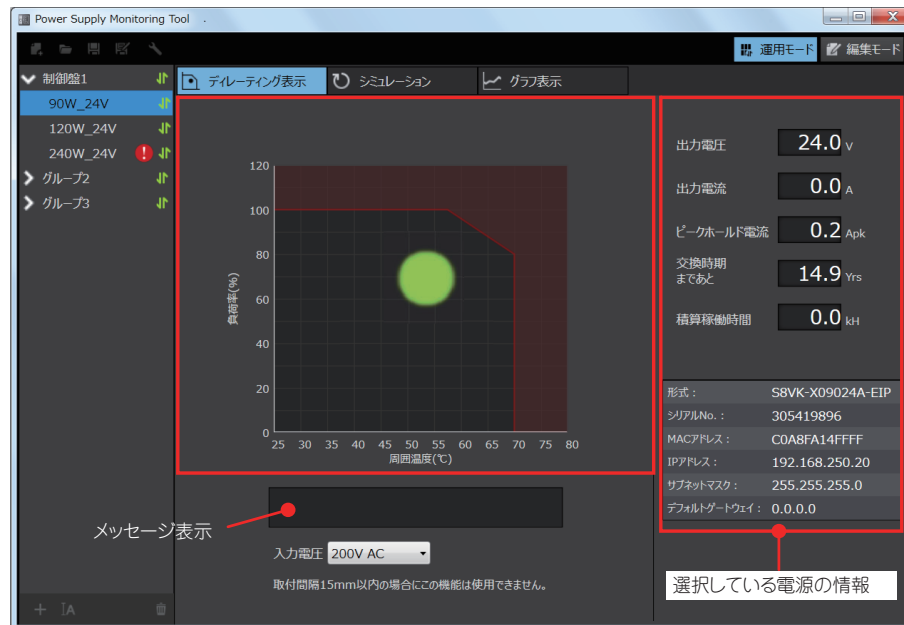
以下が表示されます。画面下にある「入力電圧」に、形 S8VK-X に印加している入力電圧を設定します。入力電圧は 100V AC、115V AC、200V AC、230V AC から選択できます。ご使用の入力電圧に近い値を選択してください。「入力電圧」の初期値は「200V AC」です。



### 3 周囲温度を推定します。

推定には、運用モードに移ってから 10 分かかります。10 分経過後、ディレーティング表示に緑色の円が表示されます。この円の位置で、負荷率や周囲温度の余裕度を確認します。ただし、周囲温度や電源の負荷が安定しない場合（※）、温度安定待ちのままとなります。

※ 目安は周囲温度が  $\pm 1^{\circ}\text{C}$  以内です。

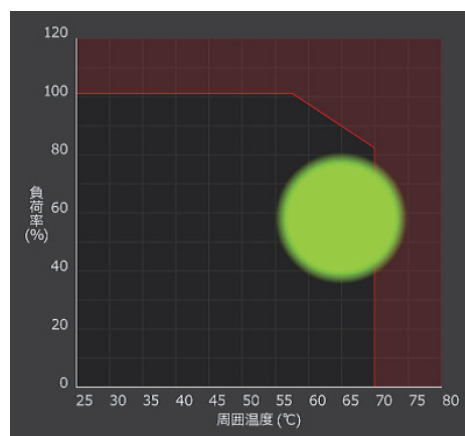


### 4 負荷率と周囲温度の余裕度を確認します。

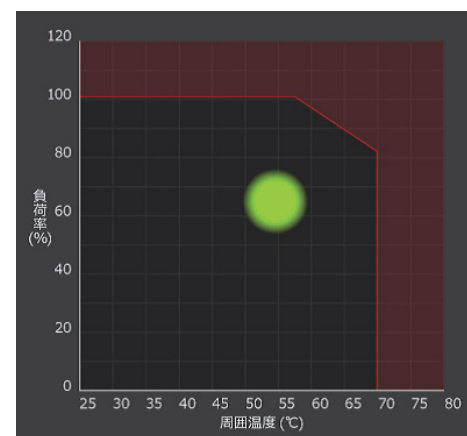
ディレーティング表示の横軸が推定周囲温度で、縦軸が負荷率です。グラフは 1 分ごとに更新されます。

周囲温度が安定しない状態では、円が大きく表示され、安定すると小さくなります。

温度が安定しない状態



温度が安定した状態



推定周囲温度：形 S8VK-X の内部温度から推定した周囲温度

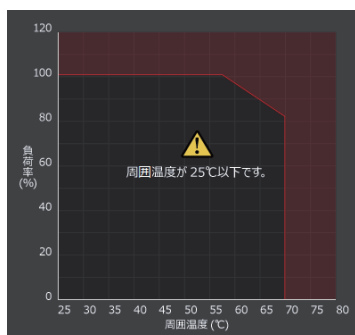
負荷率：出力電流値 (A) ÷ 定格出力電流 (A)

ディレーティング表示に応じたアドバイスが、グラフ下部のメッセージ表示部に表示されます。メッセージに従って対処してください。

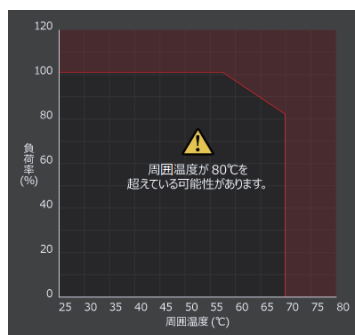
- ・ 十分余裕がある状態です。このままお使いください。
- ・ 負荷率にマージンがありません。容量 UP をご検討ください。
- ・ 周囲温度にマージンがありません。周辺環境の改善をご検討ください。
- ・ 負荷率が 100% を超えている可能性があります。故障する恐れがあるので容量 UP をご検討ください。
- ・ 周囲温度が 70℃ を超えている可能性があります。故障する恐れがあるので周辺環境の改善をご検討ください。

推定周囲温度が表示範囲を超えた場合、または通信異常が発生した場合、以下の表示になります。

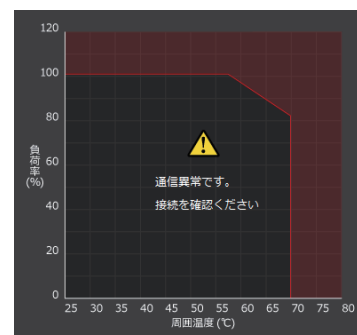
推定周囲温度が 25℃ 以下



推定周囲温度が 80℃ 以上



通信異常が発生



## 5 容量変更のシミュレーションをおこなう。

電源容量を見直したい場合、本ソフトでシミュレーションをおこなえます。

以下で「シミュレーション」タブを選択し、シミュレーションしたい形式を、「形式」で選択します。出力電圧 5V/12V は、容量ラインアップが無いいためシミュレーションの対象外です。



左側が現在値で、右側がシミュレーション値です。グラフは 1 分ごとに更新されます。この結果を参考に、電源容量を見直してください。

## 5-3 電圧・電流をグラフ表示する

出力電圧 / 電流をグラフに表示し、傾向を確認することができます。  
使用方法は以下の通りです。

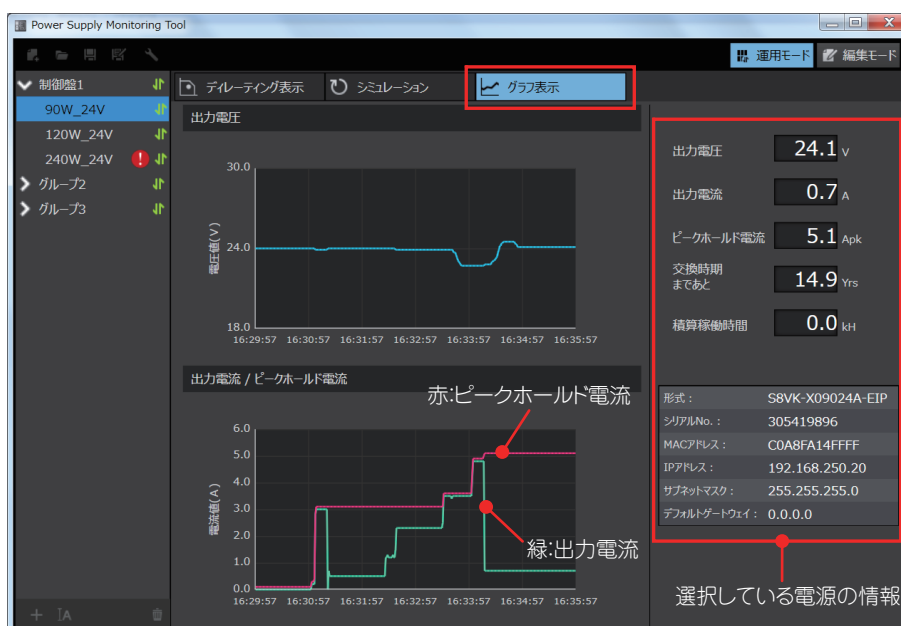
### 1 グラフ表示画面に移ります。

運用モードで、グラフ表示したい電源の「グラフ表示」をクリックします。再度、一覧表示にしたい場合は「グループ名」をクリックします。



### 2 出力電圧 / 電流のグラフが表示されます。

以下で上部に出力電圧、下部に出力電流（緑線）とピークホールド電流（赤線）のグラフを表示します。



※ グラフ上にマウスを当てると、その時点の値が表示されます。

グラフはサンプリング周期ごとに更新し、最新データから過去 360 個分のデータを表示します。

サンプリング周期ごとのグラフ表示区間は、以下の通りです。

| サンプリング周期    | グラフ表示区間 |
|-------------|---------|
| 1 秒 (デフォルト) | 6 分     |
| 10 秒        | 60 分    |
| 1 分         | 360 分   |
| 1 時間        | 360 時間  |

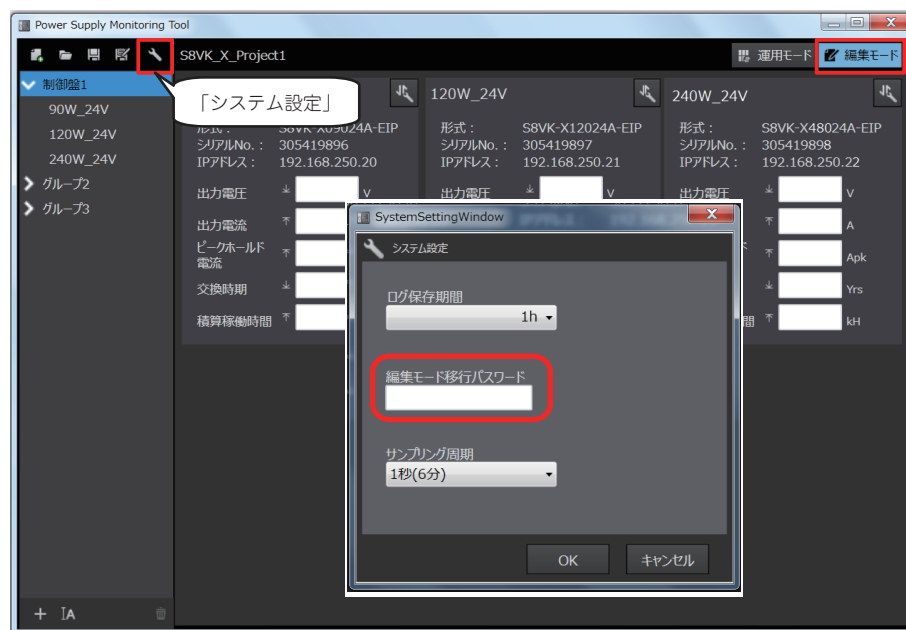
サンプリング周期の設定は、□「4-4 モニタリング (P.4-10)」の手順 3 を参照してください。

## 5-4 パスワードを設定する

管理者以外が設定変更できないように、パスワードを設定できます。

「編集モード」をクリックし、「システム設定」をクリックした後、「編集モード移行パスワード」を設定します。

パスワードは英数半角のみで、最大 8 桁です。未設定の場合、本機能は無効です。



パスワードが設定されている場合、以下の操作を行うと、パスワード入力画面が表示されます。

- ・ 編集モードに移行する場合
- ・ 起動画面から「編集」をクリックし、プロジェクトファイルを読み出す場合

パスワードが分からなくなった場合、以下のファイルで確認してください。

保存場所 : C:\¥OMRON¥Power Supply Monitoring Tool¥Password  
 ファイル名 : (プロジェクト名)\_PASSWORD.txt

# 6

## こんなときには

この章では、Power Supply Monitoring Tool 使用時のトラブルシューティングおよびその他の「こんなとき」について説明します。

---

|     |                     |     |
|-----|---------------------|-----|
| 6-1 | トラブルシューティング一覧 ..... | 6-2 |
|-----|---------------------|-----|

## 6-1 トラブルシュート一覧

はじめに以下を確認してください。

- ・ 形 S8VK-X の DC ON 表示灯が点灯していること
- ・ 形 S8VK-X の MS 表示灯が緑点灯していること（赤点灯時は故障です。交換してください）
- ・ Ethernet ケーブルが正しく接続されていること

解決しない場合は、以下のシーンにしたがって確認してください。

| シーン                 | 現象                               | 原因                                                       | 対策                                                                                                                                           |
|---------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP アドレス<br>設定時      | IP アドレスを入力すると、「使用不可能な値です」が表示される。 | 設定してはいけない IP アドレスを入力している。                                | IP アドレスのルールに従って入力してください。                                                                                                                     |
|                     |                                  | 複数の形 S8VK-X を接続している。                                     | 〔自動接続〕時は、1 台しか接続できません。1 台にしてください。                                                                                                            |
|                     | 〔自動接続〕ができない。                     | Communications Middleware Utilities のネットワークカード設定を間違えている。 | 〔すべてのプログラム〕－〔OMRON〕－〔Communications Middleware Utilities〕－〔DirectEthernetUtility〕を開き、設定を変更してください。設定例は□□「2-1 インストール (P.2-2)」の手順 14 を参照してください。 |
|                     |                                  | 〔固定 IP 接続〕ができない。                                         | 正しい値を入力してください。                                                                                                                               |
|                     |                                  | IP アドレスを間違えている。                                          | □□「第 3 章 IP アドレスを設定する」を参照してください。                                                                                                             |
|                     |                                  | 形 S8VK-X の IP アドレス、またはサブネットマスクを設定していないか、設定を間違えている。       | □□「4-2 パソコンの設定 (P.4-3)」を参照してください。                                                                                                            |
| モニタリング<br>開始時       | モニタリングできない（モニタ値が空欄で、通信異常が発生）。    | パソコンの IP アドレスを設定していないか、設定を間違えている。                        | □□「4-2 パソコンの設定 (P.4-3)」を参照してください。                                                                                                            |
|                     |                                  | 形 S8VK-X の交換後、IP アドレスを設定し忘れた。                            | □□「第 3 章 IP アドレスを設定する」を参照してください。                                                                                                             |
| モニタリング<br>中         | モニタ値の更新間隔が遅い。                    | モニタリングしている形 S8VK-X に、通信異常が発生している。                        | □□「4-4 モニタリング (P.4-10)」の手順 2 を参照し、通信異常が発生している機種を確認してください。                                                                                    |
| ディレー<br>ティング表<br>示中 | 「温度安定待ち中」から画面が変わらない。             | 「運用モード」に移ってから 10 分経過していない。                               | 10 分お待ちください。                                                                                                                                 |
|                     |                                  | 10 分経過しているが、周囲温度が安定しない。                                  | 扉の開閉などを確認し、周囲温度を安定させてください。                                                                                                                   |

その他の「こんなとき」の対策は以下のとおりです。

| こんなとき              | こうしてください                                                                                      |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新しい形 S8VK-X に交換したい | 新しい形 S8VK-X の IP アドレスを設定し、古い形 S8VK-X と交換してください。IP アドレスの設定方法は、□□「第 3 章 IP アドレスを設定する」を参照してください。 |
| パスワードを忘れた          | □□「5-4 パスワードを設定する (P.5-8)」を参照してください。                                                          |



## オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様  
相談室

フリー  
通話 **0120-919-066**

携帯電話・IP電話などではご利用いただけ  
ませんので、右記の電話番号へおかけください。

055-982-5015  
(通話料がかかります)

受付時間：9:00～19:00 (12/31～1/3を除く)

オムロンFAクイックチャット  
[www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/](http://www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/)

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)

受付時間：平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)

※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。



その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。



オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。 **[www.fa.omron.co.jp](http://www.fa.omron.co.jp)**

- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。

オムロン商品のご用命は